

市域全体地図



あなたもトライ！ 一訪れたスポットをチェックして下さい

寝屋川公園	太秦高塚古墳	寝屋の まちなみ	淀川河川公園	友呂岐緑地	成田山不動尊	ねや川戎 (住吉神社)	萱島駅の くすのき

発行 寝屋川市教育委員会 文化スポーツ室（寝屋川市本町1-1）
TEL 072-813-0074

初版 平成23年3月発行
第二版 令和4年3月発行

第二版は2,000部作成し、1部あたりの印刷単価は33円です。

訪ねてみよう

新寝屋川八景

＜第二版＞



寝屋川市

新寝屋川八景へのいざない



はちかづきちゃん ねや丸くん

寝屋川市は、かつては大阪近郊の農村地帯として田畑が広がるのどかな風景が広がっていました。戦後は大阪市のベッドタウンとして住宅開発が進み、街の姿は大きく変わりました。しかし、市内には自然や昔の姿を残す文化財が、数多く残されています。このパンフレットを持って、新寝屋川八景をはじめ、ふるさと寝屋川探しの旅に出かけませんか。

新寝屋川八景って？

寝屋川市では昭和61年(1986年)に市制施行35周年を記念して、市民の郷土愛を深め「ふるさと寝屋川」を継承していくため、「寝屋川八景」を制定しました。その後も本市は発展を続け、京阪寝屋川市駅の高架化や香里園駅周辺の再開発事業、さらに第二京阪道路の開通などまちの姿も変わりつつあります。そこで、市民共有の財産としてわがまち寝屋川の魅力を市内外に発信していくことを目的に、平成21年(2009年)に新たに「新寝屋川八景」を制定しました。寝屋川市を代表する風景・景観となる8箇所の選定にあたっては、「自然を散策し、歴史にふれ、子供たちが遊び、市民が憩う、そして郷土愛を育む」を基本テーマとして、市民から候補地の推薦および絵画・写真の作品の募集を行い、さらに市民の投票結果をふまえて新寝屋川八景選定委員会での審議を経て、決定しました。

大阪ミュージアム構想

大阪府は、府内全体を「ミュージアム」に見立て、その魅力を内外に発信する「大阪ミュージアム構想」を推進しています。本市でも45件(令和4年3月現在)が登録されており、「新寝屋川八景」も全て登録されています。



新寝屋川八景を訪ねる散策コース

コース名	ル ー ト
①大楠コース (約9km)	寝屋川市駅→八坂神社→千種庄右衛門の碑→ 友呂岐緑地 →長栄寺→高柳大將軍→高柳天満宮→若宮神社(しょうごん)→黒原の野神さん→神田天満宮のくすのき→ 友呂岐緑地 → 萱島駅のくすのき →萱島駅
②淀川コース (約9km)	寝屋川市駅→野神さん(池田下村)→池の里市民交流センター→仁和寺氏神社→ 淀川河川公園 →茨田樋跡→茨田堤碑→府立生物多様性センター→ 靱呂岐神社 →香里園駅
③石宝殿コース (約4km)	寝屋川公園駅→埋蔵文化財資料館→打上公園→打上(高良)神社→石宝殿古墳→明光寺→打上の弘法井戸→ 寝屋川公園 →寝屋古墳→四ツ辻→寝屋川公園駅
④弘法井戸コース (約4km)	寝屋川市駅→八坂神社→幸町公園→伝・秦河勝の墓→春日神社(スダジイの社叢)→国松の弘法井戸→田井の弘法井戸→成田公園→ 成田山不動尊 →香里ヌヴェール学院(聖母女学院校舎)→友呂岐神社(お弓行事)→湯屋が谷弘法井戸→香里園駅
⑤水路巡りコース (約6km)	寝屋川市駅→ 友呂岐緑地 →野神さん(池田川村)→二十箇用水路→若宮八幡宮→寝屋川導水路→幹線水路→府立生物多様性センター→靱呂岐神社→香里園駅
⑥高宮廃寺コース (約9km)	寝屋川公園駅→第二京阪道路→ 太秦高塚古墳 →熱田神社→伝・秦刀鍛冶屋敷跡→市民会館(五藤ヶ池)→秋玄寺→高宮神社→高宮廃寺跡・大杜御祖神社→二月堂灯籠→正縁寺→埋蔵文化財資料館→寝屋川公園駅
⑦讃良川コース (約9km)	寝屋川公園駅→正縁寺→讃良川遺跡→南寝屋川公園→大念寺→鶯関神社→河北大神宮→からくる親水公園→ 萱島駅のくすのき →萱島駅
⑧鉢かづき姫伝説コース (約7km)	寝屋川公園駅→四ツ辻→ 寝屋川公園 →寝屋古墳→打上川治水緑地→公園墓地→寝屋川の起点→西蓮寺→正法寺→ 寝屋のまちなみ →寝屋神社→伝・寝屋長者屋敷跡→星田駅
⑨椎の森コース (約7km)	寝屋川市駅→ ねや川戎(住吉神社) →伏越樋→伝・秦刀鍛冶屋敷跡→熱田神社→打上川治水緑地→春日神社(スダジイの社叢)→国松の弘法井戸→千種庄右衛門の碑→幸町公園→八坂神社→寝屋川市駅
⑩みどりの道コース (約8km)	寝屋川市駅→八坂神社→幸町公園→寝屋川の起点→公園墓地→成田公園→ 成田山不動尊 →四方黒池→香里ヌヴェール学院(聖母女学院校舎)→友呂岐神社(お弓行事)→湯屋が谷弘法井戸→香里園駅

—ふるさと伝承・はちかづきの里— **寝屋のまちなみ** (寝屋1丁目)



『御伽草子』に収録されている「鉢かづき」の物語の主人公の姫の生家である長者屋敷の跡が、「寝屋村」にあったという考証があり、この地域がはちかづきの里として江戸時代から知られるようになりました。寝屋地区の集落は東西にのびる丘陵上に立地し、街路に沿って土堀のある民家が建ち並ぶ古い街並みがよく残されており、いにしへの時代に思いを馳せることができます。

—広大で自然豊かな— **淀川河川公園** (仁和寺野草地区～太間地区～木屋元地区)



淀川の河川改修工事に伴って、両岸に整備された広大な面積の公園です。グラウンドをはじめ総合的な施設として手軽に利用でき、景観的にも市内の他の場所にはない雄大さが体感できます。特に、対岸の堤防や北摂の山並に沈む夕陽を眺める夕暮れの景色は、すばらしいものがあります。新寝屋川八景の選定では市民による投票第1位で、本市を代表する景観として幅広い支持を得ました。

—四季いろどりの散歩道— ともろ ぎりよくち **友呂岐緑地** (桜木町～下神田町)



「二十箇用水路」と「友呂岐悪水路」の統合により不要となった水路を埋め立て、昭和49年(1974年)に市民のやすらぎと憩いの場として整備されました。寝屋川市駅前の寝屋川左岸も「せせらぎ親水公園」として平成17年に整備され、桜木町から下神田町まで本市中央部の南北約3.5kmの緑地帯がつながりました。散策路としても市民に利用され、春の桜の時期をはじめ四季折々に自然の装いが楽しめます。

—香りの丘— なりたさん ぶどうせん **成田山不動尊** (成田西町10-1)



成田山大阪別院明王院は、昭和9年(1934年)に千葉県成田山新勝寺の大阪別院として市北部の丘陵上に建てられました。関西屈指の交通安全のお不動さんとして厚く信仰され、毎日、交通安全祈願の祈禱が行われています。2月に催される節分祭では芸能人などが参加する豆まきが盛大に行われ、福豆を求めて市内外から多くの参拝者が訪れます。

—寝屋川のえべっさん— ^{えびす} **ねや川戎** (住吉神社：木田町6-10)



正月の余韻の残る1月10日の前後3日間に、住吉神社で催される十日戎には、「商売繁盛笹持って来い、寝屋川えべっさんここだっせ」の掛け声と福笹をもった人々で、寝屋川市駅周辺は年一番の賑わいとなります。市外からの参拝者も多く、普段は静かな境内も、この日は商売繁盛を願う人々でごった返し、本市を代表する新春の風物詩となっています。

—木漏れ日あふれる憩いの場— **寝屋川公園** (寝屋川公園1707)



市内東部の丘陵上に設置された大阪府営の公園で、野球場や、陸上競技場・テニスコート・ソフトボール広場・芝生広場などの施設が整備されており、大阪府指定史跡の寝屋古墳も所在します。また、広い園内には緑も多く、春の桜や秋の紅葉の名所となっています。園内には打上川沿いに遊歩道が設けられ、園路を利用して散策も楽しめます。

—現代建築と自然の融合— ^{かやしま} **萱島駅のくすのき** (萱島本町198-1)



萱島神社の神木のクスノキは、京阪電車の連続高架・複々線化工事に伴う萱島駅舎の移築によって、駅構内に取り込まれることになりましたが、地元の方々の強い要望により駅構内(大阪方面行ホーム)に保存されました。駅の高架ホームを突き抜けてそびえ立つ巨木のユニークな姿は、新聞やテレビでも取り上げられ、大阪府の「みどりの百選」にも選ばれています。

—いにしへの歴史ロマンへの誘い— ^{うずまさたかつかこふん} **太秦高塚古墳** (太秦高塚町1-358)



古墳時代中期後半(5世紀)に築かれた本市最大の古墳です。市指定史跡として、平成13年(2001年)に発掘調査成果をもとに、古墳が築かれた当時に近い姿に復元整備が行われ、古墳公園として公開されています。1段目の平坦部に復元された350本以上の円筒埴輪のレプリカは見てたえがあります。また、古墳の頂上に上ると、北摂の山々や河内平野のパノラマを眺めることができます。